

平成23年11月18日

議会報告会報告書

議会広報広聴特別委員会委員長 酒井睦夫 様

議会報告会 2班
班長 伊藤 實
乾 紳一郎
海老原 功一
楠山 栄子
斉藤 真理
酒井 睦夫
山崎 専司

私の班は議会報告会を開催し、その概要は次のとおりでしたので、ご報告します。

記

- 1 日時 平成23年11月6日(日)
午前10時～午前11時30分
[前半]午前10時～午前10時30分
[後半]午前10時30分～午前11時30分
- 2 場所 北部公民館
- 3 欠席議員 無
- 4 参加者数 57人
- 5 報告内容
[前半] 共通テーマ
「予算はどう使われたのか」平成22年度決算

[後半] 各班独自テーマ

・ 3.11 あなたはどうしていましたか？

～災害に強いまちづくり～

6 意見交換内容

国の財政状況も厳しいが、臨時財政対策債は、後年度必ず交付金として、措置されるのか。

→財政健全化を目指す流山市としては、不交付自治体になることが望ましいが、現状では、交付金をもらうこともやむを得ない。国との約束であり措置されるものとする。

連結貸借対照表における、負債の部の退職手当は、職員数からして少ないのではないか。

→現在の職員全員が、一斉に辞めた時に必要な額と説明を受けている。

市は被災状況の調査を徹底し、建築担当と一緒にデータを取るべきではないか。

→市には木造住宅も多く、住宅倒壊を想定したような、補助金制度の拡充を求めている。

22年度の公共事業を施行した、市内業者の割合はどうか。

→公共工事については、市内業者優先で工事発注を行っている。耐震改修の建築工事については、市内業者が少ない事から、市外業者も受注している。

事業用資産については、修理・改修費等も今後増大すると思うが、どうするのか。

→公共施設の管理等については、ファシリティー・マネジメントとして計画を策定している。

第3者の会計法人による、監査が必要ではないか。

→現在は、外部委員1名、議員1名が監査委員になっており、定期監査等を行っている。すぐにはできないが、外部監査は必要ではないかと考えている。

歳入の減少が予想される中、歳出ではどこを減らしていくべきか。

→決算審査特別委員会では、各会派合意事項について、執行部に要望書を提出している。小金井市においては、退職金が払えないということで、大規模リストラを実施した。究極は人件費の削減だと考えます。

→TX沿線整備の凍結・先送りによって財源を確保することを提案する。

7 参加者から議会への要望

TX沿線整備を進める市としては、UR地区をはじめ、インフラ整備はスピード感を持って、進めてほしい。住民の利便性が最優先されるべきで、道路整備は早急にやってほしい。

→地域住民の利便性が確保できるように、道路整備等を急ぐように、各施行者に要望してまいります。

8 所感

思った以上に多くの市民の方々にお集まり頂き、感謝申し上げます。

今回は、決算のご報告と、3・11から、放射能問題、二議員より説明させていただきました。とても分かりやすい説明だったと思います。

次回は、テーマなどについても、もう少し協議し、より、市民の方々に関心を持って頂ける内容にしていきたいと思っております。